

（2）過去の地震活動

メキシコ南部周辺は、主にココスプレートが北米プレートの下に沈み込んでおり、M7.0 以上の地震が繰り返し発生している場所である。この周辺で発生した地震による揺れや津波によってメキシコ国内で多くの被害が生じている。

1900 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域 c）では、M7 を超える地震が時々発生している。1985 年 9 月 19 日には、Mw8.0 の地震（メキシコ地震）が発生し、死者約 9500 人などの被害が生じている。この地震では、震央から約 400km 離れたメキシコシティで長周期地震動により多くの建物が倒壊・損壊するなどの被害が生じている。

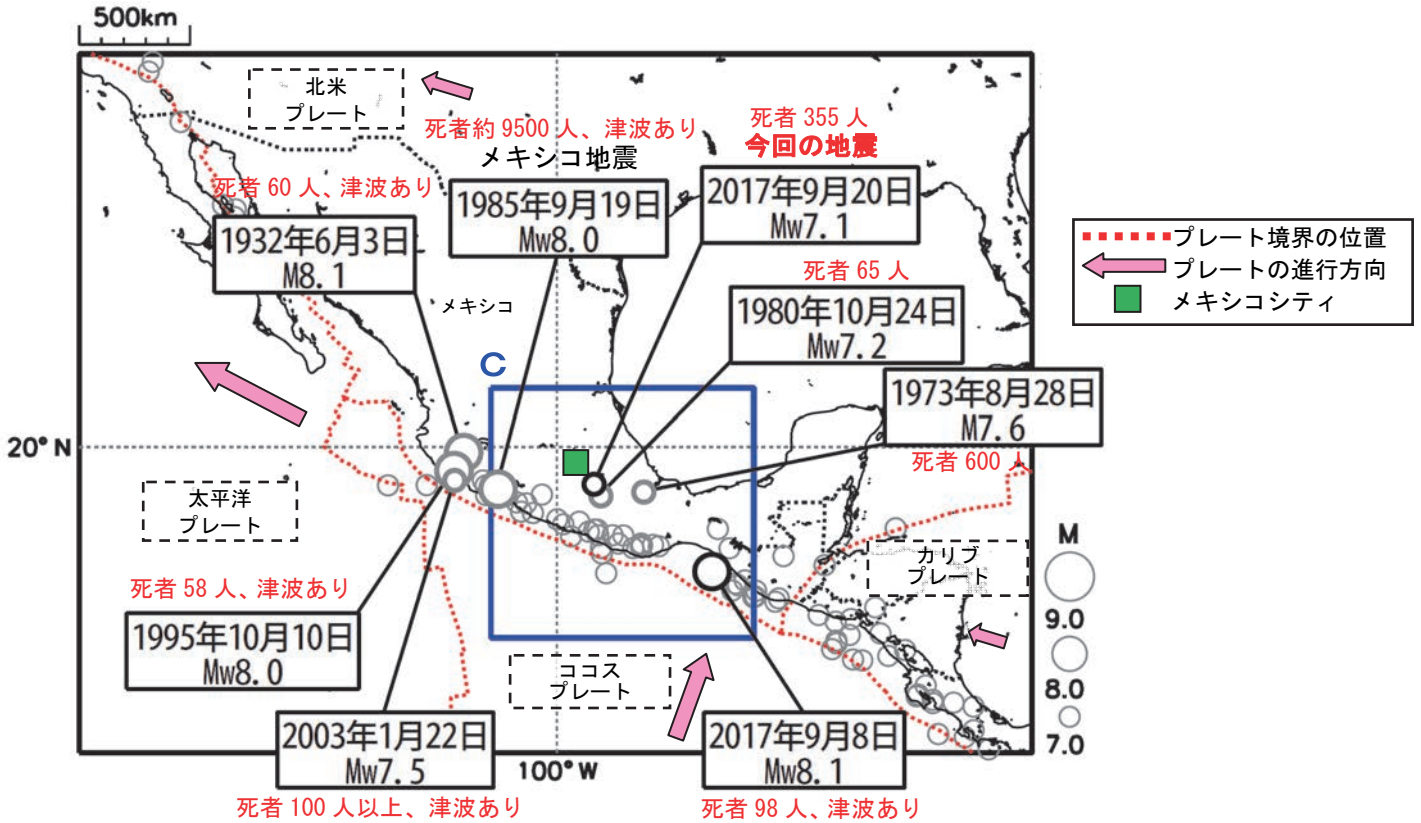


図 2-1 震央分布図※※
 (1900 年 1 月 1 日 ~ 2017 年 9 月 30 日、深さ 0 ~ 200km、M ≥ 7.0)

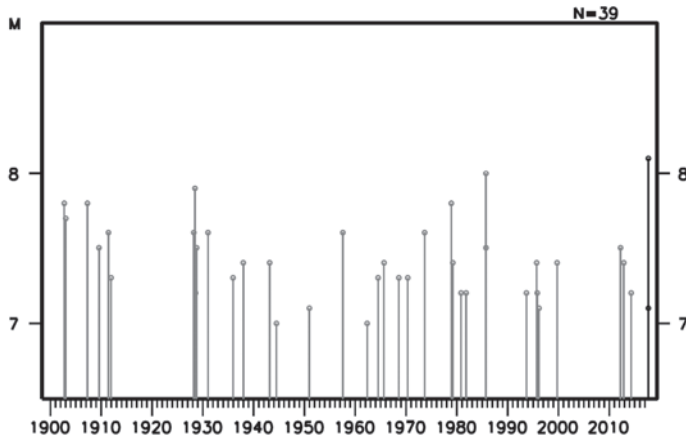


図 2-2 領域 c 内の M-T 図

※※本資料中、1900 年 ~ 2012 年の震源要素は国際地震センター (ISCGEM) による。2012 年以降の震源要素は USGS による。1976 年 ~ 2009 年の Mw は Global CMT、2009 年以降の地震の Mw は気象庁による。プレート境界の位置は Bird (2003) より引用。今回の地震の被害は OCHA による (2017 年 9 月 30 日現在)。その他の被害は、宇津の「世界の被害地震の表」による。